

# 今後の検討事項、調査事項

内閣府(防災担当) 普及啓発・連携担当

2017年5月18日

## 検討事項1：課題の整理

- 防災上、性差により生じている課題には、どのようなものがあるか。なかでも、地域の防災力に関連の深い課題は何か。それは、平時の課題とどのように異なるのか。

## 調査事項：データと事例

- ジェンダー平等である防災の状況を説明する指標の整理（災害による直接・間接被害、地域の防災力への影響）、データ収集・分析、事例の収集・分析

# 【仮説1】災害時は性差による課題が生まれる。それは平時のものとは異なる。

## Key Questions:

1. 平時の性差による課題が、災害時に拡大する、縮小する又は無関係になる事例はあるか。平時に課題とは認識されないことが、災害時に課題として顕在化する事例はあるか。

## 性差による課題(地域の防災力に関連の深いもの) 赤字は防災政策によって何等か対応できると考えられるもの

	平時(事実関係)	災害時(応急対応)の課題	災害時(復旧)の課題	復興の課題
Exposure 暴露	・危険地域での、居住(夜間人口)、就労就業(昼間人口)の男女差	・避難が困難になる地域・時間帯がある	・長期的な人口移動	
	・男女比が偏る防災関連職種がある(看護師、介護職、消防士)	・職業上の制約により避難が困難になる(看護師、介護職、消防士)	・災害時に支援者となるこれらの職種を支援することが必要になる	
Vulnerability 脆弱性	・男女による要配慮者数・割合の違い	・避難が困難になる ・要配慮者の存在を知らない	・避難生活や生活再建が困難になる	
	・健康上の差異がある(瞬発体力、長寿、健康寿命、精神面)	・避難が困難になる	・ストレス、暴力、関連死、自殺、長期的なメンタルヘルスに違いが生じる	
	・雇用(収入、就業率、就業形態)の差異		・雇用(収入、就業率、就業形態等)に差異が生じる	
	・(プライバシーが保たれている)		・避難所でのプライバシー(男女LGBT別)や人権が求められる	
Coping capacity 対応能力	・情報へのアクセス、防災教育の差異	・避難情報の入手に遅れが生じる	・復興関連情報入手が困難になる	
	・防災活動への参加の差異	・避難が困難になる	・意見が反映されにくくなる	
	・地域での個人的なつながりの差異	・助け合った避難が難しくなる	・孤立、孤独死が生じる、元のコミュニティが分断される	
			・世帯単位の支援が多く、世帯主の性別に左右される ・父子家庭を対象とする支援が手薄い。	

## <指標マッピング>

性差による課題(地域の防災力に関連の深いもの) 赤字は防災政策によって何等か対応できると考えられるもの

	平時(事実関係)	災害時(応急対応)の課題	災害時(復旧)の課題	復興の課題	
Exposure 暴露	・危険地域での、居住(夜間人口)、就労就業(昼間人口)の男女差	・避難が困難になる地域・時間帯がある	・長期的な人口移動		
	・男女比が偏る防災関連職種がある(看護師、介護職、消防士)	・職業上の制約により避難が困難になる(看護師、介護職、消防士)	・災害時に支援者となるこれらの職種を支援することが必要になる		
	Vulnerability 脆弱性	・男女による要配慮者数・割合の違い	・避難が困難になる ・要配慮者の存在を知らない	・避難生活や生活再建が困難になる	
		・健康上の差異がある(瞬発体力、長寿、健康寿命、精神面)	・避難が困難になる	・ストレス、暴力、関連死、自殺、長期的なメンタルヘル스에違いが生じる	
②	・雇用(収入、就業率、就業形態)の差異 ・(プライバシーが保たれている)	①	・雇用(収入、就業率、就業形態等)に差異が生じる ・避難所でのプライバシー(男女LGBT別)や人権が求められる		
Coping capacity 対応能力	・情報へのアクセス、防災教育の差異	・避難情報の入手に遅れが生じる	・復興関連情報入手が困難になる		
	・防災活動への参加の差異	・避難が困難になる	・意見が反映されにくくなる		
	・地域での個人的なつながりの差異	・助け合った避難が難しくなる	・孤立、孤独死が生じる、元のコミュニティが分断される		
③			・世帯単位の支援が多く、世帯主の性別に左右される ・父子家庭を対象とする支援が手薄い。		

# (指標の案) ① 直接被害・間接被害

Key Questions:

1. 平時の性差による課題により、直接被害・間接被害の量にどのように影響があるか

発災・ 応急 対応	死者	—	男女、年齢、障害の有無、経済状況、関連死
	行方不明者	—	男女、年齢、障害の有無、経済状況
	住居を失った者	—	男女、年齢、障害の有無、経済状況
	負傷者・疾病者(精神の病も含む)	—	男女、年齢、障害の有無、経済状況
	災害による仕事への影響(収入減少、転職、失職)	—	解雇、離職、休職 男女、年齢、障害の有無、経済状況 業種、就業形態
	応急ニーズに対する雇用	—	[ペイドワーク 緊急雇用等] 男女、年齢、障害の有無、経済状況、業種、就業形態
		—	[アンペイドワーク] 男女、年齢、障害の有無、経済状況、業種、就業形態
	避難所にいる避難者	—	男女、年齢、世帯、妊産婦等
	仮設住宅	—	男女、年齢、世帯、妊産婦等
	性犯罪の被害	—	男女、年齢
公的な災害支援金へのアクセス	公助	男女、年齢	
復旧・ 復興	人口移動	—	男女、年齢
	雇用創出	—	男女、年齢、職種、失業率、雇用者数、有効求人倍率

# (指標の案)②暴露、脆弱さ

Key Questions:

1. 平時の性差による課題により、暴露や脆弱さにどのように影響があるか

予防 (地 域に 住む 人を 知る)	危険地域の人口		<ul style="list-style-type: none"> <li>・昼間と夜間で、男女、年齢、障害有無、要配慮者数</li> <li>×・危険地域(GIS)</li> <li>×・過去、現在、将来推計</li> </ul>
	就業者数、雇用者数		<ul style="list-style-type: none"> <li>男女、年齢</li> <li>・雇用者数、失業者数</li> <li>・収入</li> <li>・就業上の地位(自営業、家族従業者、雇用者)</li> <li>・雇用形態(雇用者、正規、非正規)</li> </ul>
	健康		<ul style="list-style-type: none"> <li>男女、年齢</li> <li>・平均寿命</li> <li>・健康年齢</li> <li>・運動能力、体力</li> <li>・メンタルヘルス</li> </ul>

# (指標の案)③対応能力

Key Questions:

1. 平時の性差による課題により、対応能力にどのように影響があるか

予防	防災対策の学習、情報収集	自助	男女、年齢、内容
	防災訓練への参加	自助、共助	男女、年齢、内容
	防災研修への参加	公助	男女、年齢
	地区防災計画の策定への参加	共助	男女、年齢
発災・ 応急 対応	インターネット等の情報源へのアクセス	自助	男女、年齢、情報源
	避難所の運営への参加	共助	男女、年齢、役割
	防災に関する組織への参加	共助	(指標の案)④組織への参加 参照
	車保有、免許	自助	男女、年齢
復旧・ 復興	復興計画策定への参加	公助	男女、年齢

# (指標の案)④防災に関する組織への参加

予防	自主防災組織	共助	男女、年齢、役割
	消防団	共助	男女、年齢、役割
	防災NGO、ボランティア	共助	男女、年齢、役割
	防災・災害担当の行政機関(国、地方公共団体)	公助	男女、年齢、役割
	中央防災会議、地方防災会議	公助	男女、年齢、役割



## 検討事項2:ジェンダー平等を目指す目的(地域の防災力)

- ジェンダー平等を目指すことにより、地域の防災力はどのように変わるか
  - ジェンダー平等を目指すことにより、地域の防災力にはどのような影響があるか
  - そもそも、地域の防災力とは、何か。特に昨今の社会経済状況の変化(例:人口減少、高齢化、地域コミュニティの変貌、コミュニケーション手段の多様化等)より、地域の防災力はどのように変わってきているか。

## 調査事項:データと事例

- ジェンダー平等である防災の状況を説明する指標の整理(災害による直接・間接被害、地域の防災力への影響)、データ収集・分析、事例の収集・分析

## 【仮説2】ジェンダー平等ではないと、地域の防災力が低下する。

Key Questions:

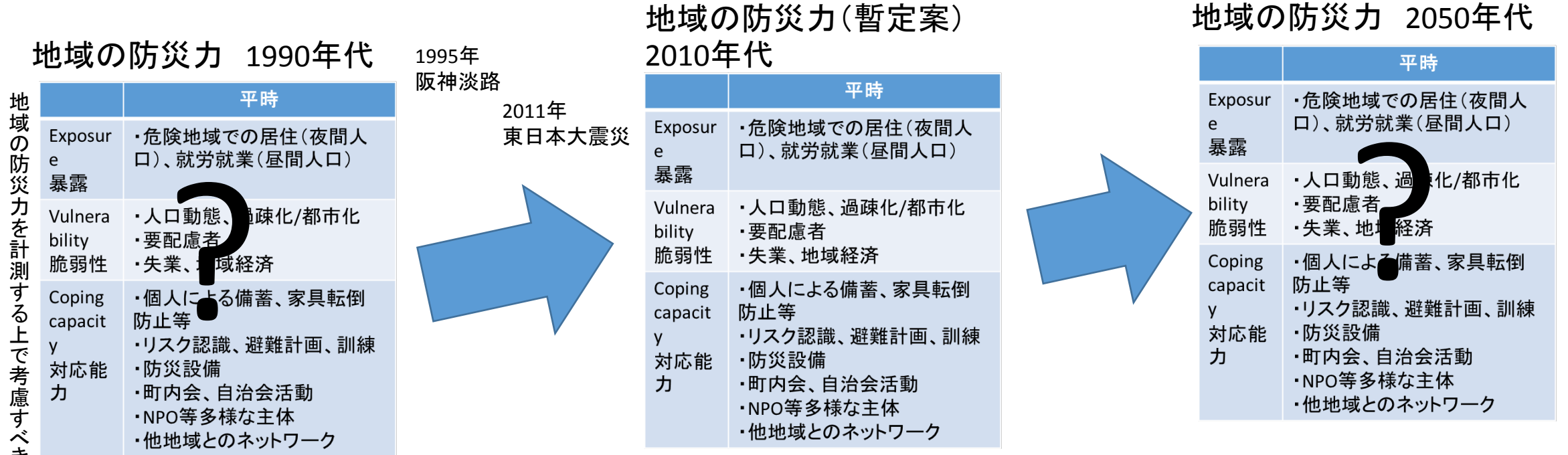
1. 地域の防災力は、ジェンダー平等である場合と、平等ではない場合では、どのように異なるのか。

	地域の防災力を構成する項目 (暫定案)	ジェンダー平等である場合	ジェンダー平等ではない場合
Exposure 暴露	・危険地域での居住(夜間人口)、 就労就業(昼間人口)	?	?
Vulnerability 脆弱性	・人口動態、過疎化/都市化 ・要配慮者 ・失業、地域経済	?	?
Coping capacity 対応能力	・個人による備蓄、家具転倒防止 等の対策 ・リスク認識、避難計画、訓練 ・防災設備 ・町内会、自治会活動 ・NPO等多様な主体 ・他地域とのネットワーク	?	?

# 【仮説3】地域の防災力は、それを取り巻く社会経済状況の変化に伴い、地域の実情に合わせて変貌した。

Key Questions:

1. 地域の防災力は、社会経済状況の変化により、どのように変貌したか。今後変化するか。
2. ジェンダー平等である場合とない場合で、今後地域の防災力にどのように影響してくるか。



## 地域をとりまく社会経済状況の変化

人口減少

高齢化

人口移動

世帯数の増加と  
多様化

コミュニティ  
の変貌

コミュニケー  
ション手段の  
多様化

災害の激甚化  
(気候変動、大規模災害)

就業形態の多  
様化

緊縮財政

## 調査事項：データと事例

### • 事例の収集・分析

	内容	策定過程等
地区防災計画 地域防災計画 BCP(企業)	ジェンダー平等を目指す取組事例	作成過程におけるジェンダー平等
海外先進国の防災に関する方針、基本計画等	ジェンダー平等の防災政策における位置づけ	ジェンダー平等の達成を測るために用いている指標